

日本一のブランド米をめざして

つや姫だより



穂肥特別号

令和 4年 7月 1日

庄内総合支庁農業技術普及課

苗質・移植時期の違いで生育はそれぞれです！ 穂肥は、茎数・葉色を確認し、遅れず適正に！

1. 6月30日の生育調査結果と対応

普及課作柄診断圃（鶴岡市上清水）の生育は、平年に比べて、草丈は長く、茎数はやや少なく、葉数の展開と葉色は並みとなっています。また、早生～中生品種の幼穂の生育状況では、出穂は平年並みからやや早いと予想されています（鶴岡市上清水「つや姫」出穂期平年値8月8日）。

良食味の「つや姫」を生産するために、遅くとも穂肥適期（出穂30日前）までには中干しを完了させ、適期に穂肥をできる稲姿（茎数・葉色）にしましょう。まだ土壌が柔らかい圃場では、作溝の手直しを行い、中干しを徹底しましょう。なお、6月上旬の低温の影響もあり、例年以上に移植時の苗質や移植時期の違いによる生育の差が大きくなっています。

表1 作柄診断圃の生育調査結果（6月30日 鶴岡市上清水）

	草丈(cm)	茎数(本/m ²)	葉数(枚)	葉色(SPAD)
本年	51.8	510	9.4	41.7
平年	43.4	569	9.3	41.5
平年比差	119	90	+0.1	+0.2
指標	45	540	9.3	40

注) 平年は過去5カ年平均、移植日は5月11日

2. 7月10日頃の生育診断と穂肥

- (1) 「つや姫」は品質・食味最優先の玄米粗タンパク質含有率を高めない穂肥が重要
- (2) 「つや姫」の穂肥は、出穂30日前に窒素成分で1.5kg/10a（表・裏図の①）が基本
- (3) 生育量（茎数）と葉色を正しく把握し、それに合わせて穂肥の施用量と時期を判断（下表参照）
- (4) 葉色が濃い圃場は、中干しを十分に行い、穂肥は慎重に

表2 7月10日（10葉期）の茎数・葉色と穂肥対応（株当たり本数は70株/坪の場合）

茎数・葉色（SPAD）	穂肥時期	穂肥窒素成分量
① 茎数600本/m ² 以下で、葉色39以下 （28本/株以下）	出穂30日前	1.5kg/10a
② 茎数600～650本/m ² 、または、葉色39～41 （28～31本/株）		1.0kg以下/10a
③ 茎数650本/m ² 以上、または、葉色41以上 （31本/株以上）	穂肥を行わない ※注	

※注：③の場合、出穂25日前まで待ち、確実に適正葉色まで低下した場合は、窒素成分1.0kg/10aを上限に施用する。出穂前25日以降は穂肥を行わない。

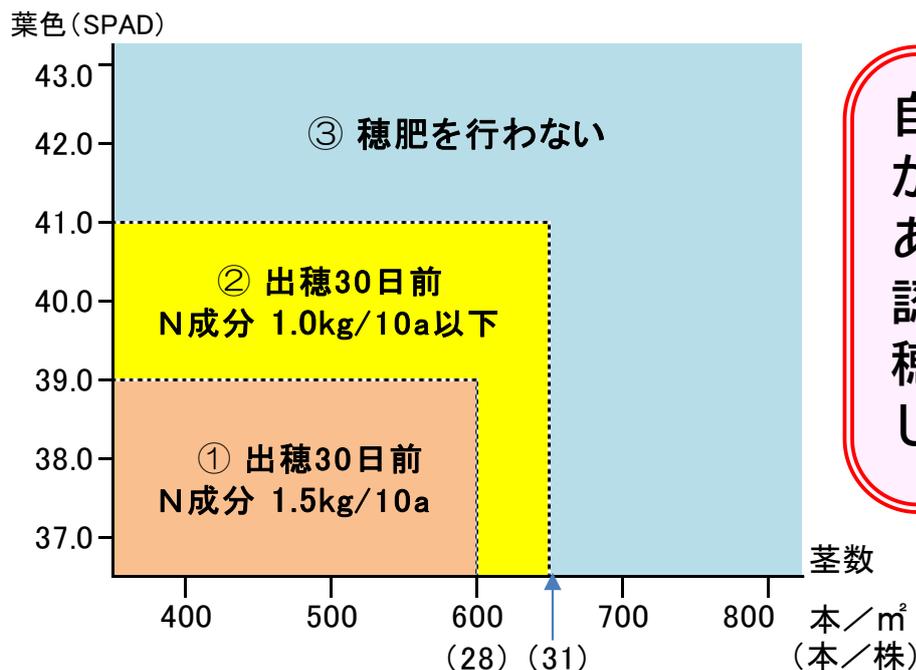


図 7/10 (10 葉期) の穂肥対応 (株当たり本数は 70 株/坪 の場合)

参考：葉色板を使用する場合の換算値の目安 \Rightarrow (葉色板値 \times 10 - 10) = SPAD 値

例えば 葉色板の値 4.9 の場合 \Rightarrow (4.9 \times 10) - 10 = 39 \Rightarrow SPAD 値



出荷基準：玄米粗タンパク質含有率が 7.5% を超えると、「つや姫」として販売できない。
生育量に対して適正な穂肥の量と時期を厳守する。



3. 「スマートつや姫」実証中！

「スマートつや姫」とは、人工衛星の画像から、すべての「つや姫」作付け圃場の生育量を把握し、圃場ごとの生育量に応じた穂肥診断結果をマップ化するもので、省力的かつ精密に「つや姫」の穂肥診断等を行う技術です。スマホや PC などからインターネット上で閲覧できます。

詳しく知りたい方、実践してみたい方は、農業技術普及課 (Tel 0235-64-2103) までご連絡ください。

4. 中干し後～穂ばらみ期の水管理

中干し後は、走り水で足跡に水がたまる程度にした後、徐々に間断かん水 (2 日湛水、2~3 日落水) にします。出穂期前後から穂揃い期は、2~5 cm の水深を保つ「花水」に切りかえます。

5. カメムシ対策は万全に！

発生密度を減らすため、周辺の草刈りを行い、斑点米カメムシ類の被害の軽減を図りましょう。昨年の鶴岡田川地域の落等理由 (1 等米になれなかった品位格付理由) の第 2 位が着色粒です。

熱中症予防と農作業事故防止のため、定期的に水分と休憩を取りましょう